

コミュニケーションの中で意識させる3つのポイント

- 1 ゆっくり、はっきり話す（伝える）
- 2 聞き返す、くり返す（受けとめる）
- 3 会話のはじめと終わり（かかわり合う）

コミュニケーションの中で何を意識させるべきか。

コミュニケーションをする場面では、必ず「伝える」人、「受けとめる」人がいて、その両者が、うまく「かかわり合う」ことが必要である。

外国語教育でも国語科と同じように、「相手意識」や「目的意識」などの言語意識の視点で捉え、上記の3点にポイントを絞り、児童に意識にさせてみたらどうかと考えた。

1 「ゆっくり、はっきり話す」

「ゆっくりはっきり」と話された際に、聞き取ったり分かったりすることが目標とされている外国語教育において、「ゆっくりはっきり」話し、伝えたい内容が「相手に伝わること」が、一番大切にしたいことであると考えます。

発達段階に応じて、自分の思いをより正確に伝えるために、「ジェスチャー」や表情を手がかりとすることも含めて考えていきたい。

2 「聞き返す、くり返す」

相手の言った言葉を「聞き返す」「くり返す」ことで、よりコミュニケーションが円滑になると考える。

相手の言ったことに反応することが大切という考えのもと、「相づちを」を打ったり、「合いの手」を入れたりすることも大変有効であろう。中学年は、まずは「うなずく」ことから始めていきたい。

3 「会話のはじめと終わり」

コミュニケーションの目的は、単に要点のみを伝えるだけではない。その意味で人との関わり合いも含めて考えるならば、挨拶は不可欠なコミュニケーションとなり得る。日本語の手紙などの書き方にも見られる用に、文頭、文末などの形式的なものは、その人との関わり合いの中で、大切な部分である。

コミュニケーションを取る相手に対して、まず「Hello」→「本題」→最後に、「Thank you」or「See you」で結ぶ。これを、外国語を話す文化のコミュニケーションツールの一つとして意識していきたい。